

コード	名 称	区分	コード	名 称
事業名	126 しぐれ忌執行等経費	会計	01	一般会計
		款	02	総務費
		項	01	総務管理費
		目	08	芭蕉顕彰費
		細目	133	芭蕉翁顕彰経費
基本 施策	35 文化・芸術により、豊かな感性と創造性を育む	細目	52	しぐれ忌執行等経費
		細々目		
行革大綱の重点事項番号 6.7				
担当部課	コード	11300		担当者
	名称	企画総務部企画課		氏名
				福島 礼子
				連絡先
				22 - 9621 (内線) 2115

事務事業の概要 (Plan)

対象(誰を、何を)	芭蕉翁を顕彰する人	※対象件数
成果(どうする)	芭蕉翁を慕うものが集まり、芭蕉翁を顕彰することができる。	
根拠法令・要綱等		
開始年度	平成 19 年度	関連事業
終了年度	平成 年度	
H21 事業 内容	(財)芭蕉翁顕彰会に式典を委託する。 合唱「芭蕉讃歌」 顕彰の言葉 献花 講演会「芭蕉余録」山崎俳句会 主宰 宮田正和 芭蕉公園自由散策	
社会情勢 の変化等		

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

1 建設用地	
2 建設面積 (延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	千円

運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

1 運営主体	
委託先	
2 配置人員	人
3 年間運営費	千円
4 市内の 類似施設	

事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

活動指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H20	H21	H22	H23
しぐれ忌開催にかかる打ち合わせ会	回		目標	3	目標	3
			実績	2	実績	3
			目標		目標	
			実績		実績	

成果指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H20	H21	H22	H23
参加者数		より多くの人が参加することにより、芭蕉翁を顕彰することができる	人	目標	450	目標	250
				実績	210	実績	130
				目標		目標	
				実績		実績	

投入コスト	H20 決算		H21 決算		H22 当初予算		H23 当初要求	
	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	
直接事業費計 (A)	316	315	315	300				
Aの 財源 内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他	0	0	0	0			
	一般財源	316	315	315	300			
事業投入人件費 (B)	0.1 人	720	0.1 人	720	0.1 人	720	0.1 人	
フルコスト(A)+(B)	1,036	1,035	1,035	1,020				

事務事業の評価 (Check)

	判断の基準(該当項目に○をつけてください)	備考欄(特記事項)
必要性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業	松尾芭蕉の生誕地として、芭蕉翁顕彰事業を通して、先人が行ってきた芭蕉翁顕彰を受け継ぎ後世に継承していくことは、芭蕉翁を核としたまちづくりを推進する伊賀市にとって必要である。
	個人の方だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業	
	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業	
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業	
	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業	
	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業	
	国や県、民間が同様のサービスを提供している事業	
	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業	
	民間のサービスだけでは市場全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業	
	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業	
事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業		
【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】		
	財政状況を考慮し、事業を休止した場合、市民生活への影響が大きい事業	【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】
有効性	事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高	市民が参画する式典として、芭蕉翁顕彰に寄与することができる。
達成度	当初設定した計画を 100% 実施している。【計画に遅れが生じている場合、改善策】	
	予算の繰越の有無 無	
	【予算の繰越がある場合、繰越の種別】	
効率性	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。【事業名】 芭蕉祭事業	芭蕉翁顕彰事業として、10月に行われる芭蕉祭から11月から11月の本事業間を芭蕉月間として位置づける中で、本事業は地域が主となり行っている事業であり、事業規模や内容からこれ以上のコスト削減は難しい。
	受益者負担を求めることができる事業である。全体コストにおける負担構成は適正である。	
	コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。	

昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

改善策	前夜祭を取り入れ事業実施の周知を図っている。
【状況】	計画のとおり進んでいない
【詳細】	
昨年度の取組状況	地域の取り組みの見直しの中で、前夜祭を行わないこととなったが、今後、新たな取り組み等についても検討を行う。

今後の方向性 (Action)

担当課長氏名	増田 基生
【方向性】	現状維持
【理由】	
事業の方向性	芭蕉翁生誕の地としての芭蕉翁顕彰の重要な事業のひとつであり、継続した事業展開を行う必要があると考える。
現時点における課題、その他	地域の取り組みとしての継続した事業展開
課題、その他に対する改善策(いつまでに、何を、どうする)	25年度までに、委託先と芭蕉祭と同日開催が行えないか構築について協議を行う。